

乳癌の手術後に当院で放射線治療を受けた皆様へ

(臨床研究に関する情報)

術後乳癌に対し放射線治療を受けた方の経過で、乳癌とは別のがん（これを「二次がん」とよびます）がどのくらいの頻度で発生しているかを明らかにするために、過去の症例を解析することになりました。

この研究は、診療録（カルテ）より得られた記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 術後乳癌に対する光子線治療後の二次がんに関する後向き観察研究

[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構QST病院

[研究期間] 研究期間（2021年許可日～2023年3月31日）

[共同研究機関] なし

[研究責任者] 小此木 範之

[研究の目的] 当院における、術後乳癌に対する放射線治療後に発生する二次がんの頻度を明らかにすることです。

[研究の方法]

●対象となる方々

1961年7月から2006年9月までに当院で術後乳癌に対し放射線治療を受けた患者さん。

●利用する情報：年齢を含む患者さんの背景情報、治療概要、診療録（カルテ）に記録されている治療後の経過など。

2021年11月30日までに記録されている最新の情報を利用しますが新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い] **お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。**

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることはありません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い取り扱います）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方、またはそのご家族は、2021年11月30日までに下記【問い合わせ先：窓口】へお申し出ください。

この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。上記の期限を過ぎた後でもお断りいただけますので、その場合はお申し出があった時点で可能な限りデータを取り除きます（ただし、個人情報を切り離して集計された情報は取り除けない場合があります）。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

小此木 範之、村田 和俊 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

